

ぐるっと  
250キロ

## 新たな佐渡ブランド「ひげ」デビュー

佐和田

12月5日(日)、佐渡地鶏試食会実行委員会が地鶏試食会を開催しました。試食会では、秋田県のブランド地鶏「比内地鶏」からヒントを得て、佐渡固有の鶏「佐渡ひげ地鶏」の雄とロードアイランドレッド（アメリカ原産）の雌を掛け合わせて誕生した地鶏の試食が行われました。

新たに誕生した地鶏は佐渡ひげ地鶏の特徴であるひげをもつことから「ひげ」と命名され、地鶏を使った、つみれ汁、やきとりや鶏のローストなどが参加者に振舞われ、参加者からは「歯ごたえがあっておいしい」と評判を得ていました。

また、地鶏だけでなく、カキ殻水で生産したコシヒカリを海洋深層水で炊いたおにぎりや地酒などが並び、参加者は、佐渡をまるごと活かした料理を堪能しました。

佐渡博物館の本間文雄事務局長は「佐渡独自の食材、地産地消にともなう雇用の拡大を目指して、じっくりと取り組んでいきたい」と語っていました。



▲新ブランド「ひげ」の親「佐渡ひげ地鶏」

ぐるっと  
250キロ

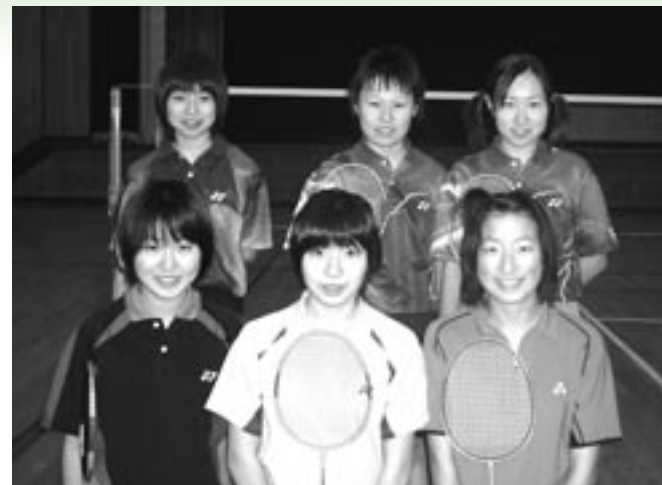
## 快挙 全国大会出場決定 佐渡はバドミントン王国

佐和田 金井 真野

12月4、5日に「第5回新潟県中学生バドミントン選手権大会(兼全国大会予選会)」が新潟市鳥屋野体育館で行われました。

女子シングルスで近藤瞳さん(佐和田中)が優勝、池晶穂さん(金井中)が準優勝。女子ダブルスで山本明日香さん・後藤若菜さん(金井中)ペアが優勝、宇治さん(金井中)・山本さん(真野中)ペアが3位、という見事な成績でした。

このうち、近藤さん、池さん、山本さん、後藤さんが、3月26日から高知県南国市で開催される全国大会に出場することになりました。選手、指導者、保護者が一丸となって勝ち取った切符です。全国大会でも頑張りたいと思います。



▲前列左から宇治さん、山本(明)さん、近藤さん、後列左から後藤さん、池さん、山本(美)さん

ぐるっと  
250キロ

## 1年の締めくくりは手作りそばで

畑野

12月12日(日)、畑野母子健康センターで、ふるさと料理教室「そばとのっぺい汁作り」が行われました。

大晦日に家でおいしい年越しそばを食べようと28人が参加し、指導員の話に真剣に耳を傾けながら熱心にそばを打ちました。

手作りのものは、やはり温かみがあっていいものです。一足早い大晦日気分を味わった1日となりました。



ぐるっと  
250キロ

## これぞ海府漁師の心意気 佐渡海府寒ぶり大漁まつり

両津

12月5日(日)、「佐渡海府寒ぶり大漁まつり」が鷺崎漁港において盛大に行われました。

今回は前日からの悪天候の影響もあり、例年に比べると「ぶり」はほとんど揚がらず、また当日も時々晴天が見られるものの雨が続く状態でした。



▲みごとな包丁さばき

それでもいけすには「ぶり」をはじめマンボウやクロダイなどの魚が入れられ、また会場では「ぶり」の三枚おろしの実演や切り身販売、寒ぶりレース、各種出店販売などが行われました。また「ぶり」のあら汁やお酒が振舞われるコーナーもあり、会場に訪れた人々は楽しい一日を過ごしていました。

ぐるっと  
250キロ



▲人気の寒ぶりレース

ぐるっと  
250キロ

## 少年野球教室

相川



プロ野球ヤクルトスワローズの2軍監督の小川淳司氏を講師に迎え、相川地区の小中学生を対象に、少年野球教室が12月4日(土)相川体育館を会場に行われました。

小川監督からは「ストレッチ一つをとっても、今自分の体のどの部分を伸ばしているのか意識してやること。それは、守備や走塁、バッティングの練習でも同じ。常に意識してやりなさい。」と、とてもためになる教をいただきました。



そして、キャッチボールやゴロの捕り方、バッティングなど熱心に実技指導が行われ、子どもたちにとって、大変貴重な体験になりました。

ぐるっと  
250キロ

## 真野第一保育園 生活発表会

真野

日ごろの保育園での練習の成果を披露する「生活発表会」が、12月4日(土)、真野第一保育園で行われました。

当日は、来賓や保護者など大勢の観客が訪れ、園児たちの発表を楽しみました。

遊戯や合奏など、それぞれの演目に合わせた、凝った衣装を身につけて元気一杯に歌ったり、踊ったりする園児の姿に、観客からは大きな拍手と声援が送られていました。



◀決めのポーズでにっこり



◀タイミングを合わせてミニサンシ



◀力を合わせてがんばりました